

JAしまねびより

2018

2

February Vol.23

特集 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 タラの芽」 西いわみ地区本部



石見神楽「^{ちがえ}道返し」
Haomichi
直通

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【津和野町 タラの芽】

2月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、山菜を生産している、日原タラの芽生産組合の永田寿秋組合長、生産第一人者の田中幸一さん、お二人にお話しをお伺いしてきました。



商人集落さっての商人、田中さん。

タラの芽の生産をはじめたどのくらいになりますか？

昭和62年から、日原の商人（あきんど）集落で生産への挑戦がはじまりました。その後ごごみ、ウルイなどの山菜の栽培も加わり、昨年ではもう30年になります。この辺りは中国山地の山あい位置しており、高津川の支流が流れ、水は綺麗で自然豊かな反面、平坦な農用地が1パーセント未満の中山間地。

平野が広がる地域で栽培される品目と同じものを生産するには、地理的な制約や生産効率が悪く、農業を続けていくのが難しい地域です。農業を生業（なりわい）として暮らしていくためには、山の民は山の民らしく、山菜を作るのが一番良いのではないかと考えました。もともとこの商



山の民という言葉に、中山間地域の課題解決法的一端を感じた。

人集落では、時代ごとに生産品目が変わってきました。中山間地というハンデがあることで、いろんな品目に挑戦し続け、チャレンジ精神が旺盛な農業人が多くいた証です。

どのように栽培するのですか？

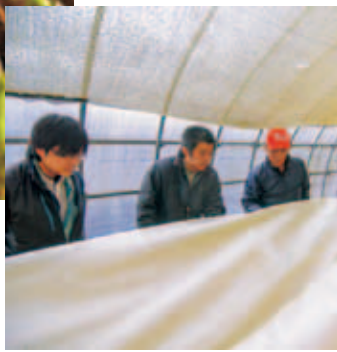
タラノキの母樹を畑に一定間隔に植えて、芽吹かせるための原木を1年で約2メートル50センチ程度の高さに育てます。その後原木を10センチ前後に切った「駒木」にして、ハウスの中のベンチに並べて育てます。7センチ程度になった芽を選定し、ハサミで一つずつ丁寧に摘み取り収穫します。収穫したものは50グラム・5本前後にパック詰めにしたものを全量、JAしまねに出荷しています。1月から本格的に出荷がはじ



勝手なイメージとは違う「山菜」の生産現場の風景が広がっていました。



ベンチに詰まるノウハウと技術は、部会外へは門外不出。特別に見せていただきました。



栽培をはじめた当初は、何よりも視察に行く場所がほとんどありませんでした。中・四国や九州はじめ先進地が全

これまでで苦勞してきたことや、大変なことなどありますか？

県内はじめ、関西や九州などの市場へ出荷しています。



研究の末に辿り着いた、生育に適した環境の中にはタラの芽がびっしりと。



「はかま」と呼ばれる茶色い皮をむいて、天ぷらなど、単純

タラの芽のオススメの食べ方などありますか？

増やす努力を続けています。

くないなかで、農業系の印刷媒体でタラの芽の記事を見つけて、載っていた山梨の生産組合長に会いに行き、栽培方法を学びました。ただ、再現してもなかなか上手くできない年月が続く、38人いた組合員は9人にまで減った時期もありました。なぜ上手くできないのか山に入って自生しているタラノキを徹底的に研究し、試行錯誤を繰り返しながら平成4年頃から、少しずつ地域にマッチした技術体系が出来上がってきました。現在は1ターソンしてきた7人を加えて、組合員も38人まで回復。U・Iターソンの若い就農者はじめ、どんどん受け入れて生産量を

タラの芽 一口メモ

日本全国の山に自生しているタラノキはウコギ科の落葉低木。新芽を「タラの芽」「タランボ」と呼び、春の訪れを感じる食材として「山菜の王様」と言われている。島根のほか山形や富山、徳島などで栽培。たらの芽はカリウムを多く含み、食物繊維や葉酸などのビタミンが豊富で、古くから薬用、食用として愛されている。津和野・吉賀両町と益田市の生産者で組織する日原タラの芽生産組合では、タラの芽のほか、ウルイ、こごみ、フキノトウなどの山菜を栽培している。



今後の抱負や展望を聞かせてください。

山菜はもともと、季節の旬の食材として料亭等の高級店で重宝されてきましたが、多

な味付けや調理方法で味わうのがオススメです。技術の進歩で1年中食べられる食材が増えました。タラの芽は春を感じる季節食材。ほのかで上品な苦味、ほっくりとした歯ごたえを楽しんでもらいたいです。天ぷらのほか、さつと茹でて酢味噌を付けて食べても美味しいですし、バター炒め、火を通したタラの芽に、すり胡麻と醤油・砂糖であえた胡麻あえも風味いっぱい味をしっかりと感ずることが出来ます。



これまでの取り組みを次のステップへ。永田組合長のまっすぐな眼差しが印象的でした。

くの人に食べてもらおうとJAとタッグを組みながら大事に育ててきました。猫の額ほどの小さな面積でも露地を最大限に活用。タラの芽からスタートした山菜づくりは、今では数種類の山菜を栽培するまでになりました。これまでのファンの人達に品質・鮮度の高い自慢の山菜を届け続けるのももちろん、誰でも気軽に食べることが出来る、身近な食材としてPRしていきま



真っ白な姿の「ウルイ」。山菜といえば日原と言われるような様々な品種で市場のニーズへ。

す。ここ数年は、若いU・Iターソンも加わり生産量も増加しています。これまで組合の門を叩いて出て行った人は、いません。新規就農者には、徹底したサポートを心掛けて、苦勞して確立した技術の伝授を既存の組合員全員が惜しみなく協力しています。これらの30年は勢いのあるものと信じ、総合的な山菜の産地として広く知られる地域になるよう取り組んでいきます。



JAの「自己改革」って何？



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JAが自ら進める改革のことを言います。JAしまねでは、役職員の意識改革に取り組み、組合員との対話やアンケートにより組合員の声を事業に反映できるよう努めていきます。また統合のメリットを發揮し所得増大や生産拡大につながる以下のような取り組みを行っています。

JAしまねの取り組み

- ☑ 営農座談会や各種集会などで、役職員が組合員の皆さまから直接意見や要望をいただく機会を増やします。
- ☑ 島根県全域で振興・生産を奨励する品目を県域品目として、地区本部が独自に振興していく品目を地域品目として、本店と地区本部が連携して生産振興・販売対策を行っています。
- ☑ 生産資材(肥料・農薬等)の銘柄を集約し、統合メリットを生かした共同購入により、徹底した価格交渉の上、コスト低減に取り組んでいます。
- ☑ 改正農協法に伴い、次回の役員改選(平成31年6月)に向けて、農業の現場の意見・ノウハウが反映されるように検討を始めています。
- ☑ 地域の活性化実現に向けて、営農だけでなく食農教育や社会貢献活動、子育て支援活動などのくらしの活動を行うとともに、JAの「総合事業」を通じて地域のインフラの一翼を担っています。



JAの自己改革に関する組合員アンケートへのご協力について

JAしまねでは、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負託に応えるとともに、組合員の協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAであるために、無作為に選ばせていただいた3,000名を対象に組合員アンケートを実施することといたしました。

3月1日(木) から22日(木) の期間に、対象者の皆様宅へご訪問させていただきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



理事会情報 (12月25日開催)

- 報告事項**
- ① アグリミーティング・島根大産直市について
 - ② 平成30年度産米の生産数量の目安について
 - ③ 米穀園芸情勢について
 - ④ 畜産情勢について
 - ⑤ 全農肥料集約銘柄最終決定仕入価格について
 - ⑥ 高齢者ATM取引の制限について
 - ⑦ 相続事務手続き支援システムの導入について
 - ⑧ 平成29年度第4四半期の余裕金運用計画および運用方針について
 - ⑨ 平成29年度JA共済コンプライアンス点検結果報告について
 - ⑩ 重大な不祥事件報告および対応について
 - ⑪ 平成29年度反社会的勢力の三次認定について
 - ⑫ 事務ミス報告について
 - ⑬ 組合と理事との取引(契約)の報告について
 - ⑭ 自主検査実施報告について
 - ⑮ 平成29年度農林水産省・島根県(二者)による検査結果について
 - ⑯ 平成29年11月末月次決算報告について
 - ⑰ 「出雲コーチン」の商標登録について
 - ⑱ 業務用固定電話会社の統一について
 - ⑲ 電気使用量抑制に向けた現場調査の実施について
 - ⑳ JAしまね本店の施設管理について
 - ㉑ 「JAの自己改革に関する組合員調査」試行調査の実施について
 - ㉒ 平成29年度年末賞与交渉結果について
 - ㉓ 外部有識者会議の設置、諮問について
 - ㉔ 事業運営改革の取り組み状況について
- その他 ① 農政をめぐる情勢について
その他 ② 青年・女性理事 活動報告等
- 協議事項**
- ① 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第4回(12月)申請について
 - ② 平成30年度農業振興支援事業の要項・要領(案)について
 - ③ 平成29年度産島根米の追加確定金準備について
 - ④ 畜安法改正に伴う生乳受託販売規程の一部改正について
 - ⑤ くにびき地区本部旅行業務の農協観光への移管と旅行センター廃止について
 - ⑥ 資産査定要項等の一部改正について
 - ⑦ 組合と理事との取引(契約)の承認について
 - ⑧ 組織基盤強化における役職員の増資運動について
 - ⑨ 重要な就業規則制裁条項の適用について

雲南

部署間連携で提案力強化 利用者の満足度向上を目指す

雲南地区本部は部署間連携に積極的に取り組んでいます。その一環で「クルマスターの日」と命名した自動車共済推進強化期間中は、共済窓口担当者やLA（ライフアドバイザー）、事故処理対応をする自動車共済審査員の三者の専門性などを活かし、自動車共済の最高水準保障「クルマスター」契約による万全保障の必要性を利用者へ呼び掛け、より安心していただける保障の提案を目指しています。

1月12日には地区本部で「クルマスターの日」の進発式を行いました。役職員40人が集まり、情勢報告や連携をより強めるためにはどうすればよいかを支店毎に話し合いました。

同地区本部の竹下克美副本部長は「部署の枠を越えて一体的に取り組み、利用者のためのJAを目指して欲しい」と話し、今後連携した活動を恒常化したい考えです。



地域ナンバー1を目指し一丸となる職員

くにびき

くにびきキャベツ出荷！ 厳寒乗り越え甘味強く

東出雲町揖屋の干拓地で育った「くにびきキャベツ」の出荷が盛んになっています。6月ごろまで出荷は続き、生産者は収穫作業や選別で多忙を極めています。

くにびきキャベツは、中海干拓地で栽培されるキャベツのことで、関西圏を中心に年間730～1,000トンの出荷量を誇り、県内産キャベツの出荷量の大半を占めます。平成24年には、高い品質と安全性を有した農林水産物だけが受けられる「美味（おい）しまね認証」にも選ばれました。

12月中旬ごろから本格化した出荷作業は、寒波の到来もあり、雪が降る中で収穫する日もありましたが、生産者は丁寧な手つきでキャベツを箱詰めしていきました。中海干拓事業所の小室陽二所長は「寒さを越えたキャベツは甘味が強くおいしい」とPRしました。



収穫したキャベツを箱詰める生産者

隠岐

水稲栽培研修会を開催

隠岐地区本部は1月19日、隠岐島文化会館で平成29年度水稲栽培研修会を開催しました。

水稲生産者、関係機関約30人が出席し、29年産米の集荷状況や品質、30年産以降の取組方針、経営所得安定対策の概況、きぬむすめ栽培方法、省力化資材などの説明を行いました。

この研修会は、平成27年のJA統合を機に毎年開催しており、今回で3回目となりますが、30年産から始まる新たな生産調整の中でも売れる米作りに取り組む必要があることから、コシヒカリからきぬむすめへの品種誘導に重点をおいた内容で開催しました。

隠岐の島町産米については、特に飯米農家を中心にコシヒカリの作付けが多く、近年の気候変動などから品質が不安定で1等米比率のばらつきも見られ、収率的にも不安定な状況となっています。同地区本部では新たな生産調整も考慮し、近年比較的安定しているきぬむすめへ作付移行していく方向で現在取り組んでいます。西郷ライスセンターでは乾燥機を新たに整備したことで受入れ体制を整え、対応をしています。



やすぎ

新たな取り組みへ安全祈願

やすぎ地区本部は安来市飯島町にある「JAしまね やすぎデイサービスセンターふれあい」の建物新築工事に伴い、工事期間中の安全を願って、12月27日に安全祈願祭（地鎮祭）を執り行いました。

地域、とりわけ農家組合員家庭において今日問題とされるのは、後継者不足や組合員の高齢化とともに、家族の介護にかかる問題です。今後JAが取り組む介護福祉事業に対する期待が高まることは必至であり、JAとしても組合員のみならず、地域社会から求められる事業として取り組んでいかなければなりません。

今回のデイサービスセンター建物新築に伴い、ご利用者の皆様、地域の皆様のご期待に応え、より良いサービス提供に努める所存です。



斐川

出荷者協議会感謝の集い開催

1月10日、JAしまね斐川グリーンセンターに野菜等を出荷する生産者で構成されている野菜等出荷者協議会が、斐川町内にある出雲空港ホテルで「感謝の集い」を開催しました。

当日は関係者を含め約130人が参加し、昼食を食べながらお互いに情報交換したり近況報告をしたりしながら親睦を深めました。催し物では、JAしまね米穀園芸部の須山一部長補佐による「最先端の産直市場」「美しい出荷物の例」についての紹介と、福間花子さんと白石勢津子さんによる「出雲弁の寸劇」が披露され、日常の会話を面白おかしく話す内容に、笑いの渦が巻き起こり、会場は大いに盛り上がりました。

出荷者協議会ではこのような集いを毎年開催しており、今年で13回目となりました。年を重ねるごとに仲間の輪も広がり、元気に楽しく活動できることに感謝しながら、皆さん和やかなひと時を過ごされました。



出雲弁の寸劇披露

石見銀山

女性部が「JA自己改革研修会」

JAしまね石見銀山女性部が、1月18日に大田パストラルで「JA自己改革研修会」を開き、フレミズを含む支部長13人が出席しました。

研修会では、石見銀山地区本部の山崎辰次本部長を講師に、JAや地域農業がおかれた状況や、自己改革の進め方について、身近な例えを挙げながら説明を受けました。山崎本部長は「JA綱領が謳うこの国の豊かさは、中山間地の小規模な農業が築いてきたもの。JAは自己改革により体質強化し、地域の暮らしを守っていく」と、女性部への理解と協力を求めました。同女性部の森脇岸江部長は「自己改革は私たちの問題でもある。運動の実践者として、JAとともに改革に挑戦し、地域の暮らしを支えていきたい」と感想を話しました。

同女性部では毎年1月にJA役職員との意見交換会を開いており、今年は趣向を変え、間近に期限が迫る自己改革についての研修会としました。研修会にはJA各部門の部長も同席し、自己改革の他、事業に関する要望にも応えました。同JA安江浩樹総務部長は「女性部がJAとともに取り組む教育文化活動こそJA自己改革の入り口である。今後力強く進めてほしい」と支部長を激励。JA、JA女性部の気持ちを一つに自己改革を進める決意を固めました。



山崎本部長（中央）の説明によりJA自己改革への理解を深める女性部員

隠岐 どうぜん

産直部会総会開催

JAしまね西ノ島支店産直部会は1月26日、西ノ島支店で「第5回JAしまね西ノ島支店産直部会通常総会」および「第5回農産物持寄会」を開催しました。当日は、今冬いちばんの積雪と寒風のなか、約20人の産直会員の参加がありました。

総会では、上程した議案の承認の他、昨年実施した斐川地区本部や同地区本部管内の農家への視察研修の報告を行いました。

積雪で農産物の集荷が危ぶまれた持寄会では、展示した農産物を会員が相互に評価し、会長賞1点、副会長賞2点、本部長賞1点を選出して、各受賞者から「ワンポイント栽培法」を教えてくださいました。また、隠岐支庁農林局農業専門普及員の矢野仁士さんによる「春野菜作り講習会」を受講し、今期販売高10%アップを目標とすることとして、和気あいあいのうちに全日程を終了しました。



出雲

ラピタ恒例のとんど祭り 無病息災を願う

生活購買店舗「ラピタ」は1月12日、出雲市神西沖町で「とんど祭り」を開きました。ラピタのとんど祭りは、小正月行事の火祭りとして昭和40年ごろから続く恒例の催しです。

ラピタでは、とんど祭りを行わない家庭向けに、市内全9店舗に正月飾りの回収箱を設置。集められたしめ縄などは山のように積み上げられ、点火すると大きな炎が舞い上がりました。雪が舞う中、訪れた地域住民は立ち昇る火を囲み、今年の無病息災を願いました。

同地区本部生活部の川上弘信部長は「地域に根ざしたラピタとして、伝統行事を守ることに意義があると考えています」と話しました。



無病息災を願って火にあたる地域住民

米のヒット甲子園で大賞受賞

島根おおち地区本部では、「販売に結びついた米作り」として、「石見高原ハーブ米」の生産振興に取り組んでいます。

この度「石見高原ハーブ米きぬむすめ」が日経トレンドイヤー主催「米のヒット甲子園」で全国195銘柄の中から9銘柄に選ばれ、「今一番食べてほしいお米」の大賞米に選ばれました。大賞米は東京自由が丘の料理店で期間限定特別ランチメニュー「ごはんがすすむ京のおかず御膳」として提供されました。

「石見高原ハーブ米」はクローバーを稲刈り後の水田で育て、田植え前の

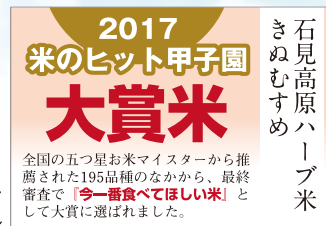


緑肥としてすき込むことで化学肥料を99%抑えた方法で栽培しています。農薬は通常の5割減で取り組み、環境にやさしい「エコロジー農産物」として生産しており、広島や東京方面へ販売しています。10年以上にわたるハーブ米の取り組みが評価されたことを糧に、より安心安全な売れる米づくりを

目指していきます。お問い合わせはJALしまね島根おおち地区本部米穀農産課(TEL:0855-83-1623)まで。

「米のヒット甲子園」とは

全国の五ツ星お米マイスターに、お薦めの新米を3つ挙げてもらい、得票数で上位に選出された9銘柄を対象に味覚審査会を実施。審査委員長を含む7人の審査委員が官能審査で大賞米を選ぶ。消費者目線からお米の味と米食の魅力を伝え、一層おいしくお米を食べる日々をサポートする。



シール



のぼり

石見高原ハーブ米
きぬむすめ

祝

日経トレンドイヤー
米のヒット甲子園
「今一番食べてほしいお米」に選ばれました。
日本一大賞米受賞
石見高原ハーブ米きぬむすめ
JALしまね島根おおち地区本部

懸垂幕

「吉賀美玉」に決定

吉賀米のネーミングとロゴの表彰式を実施

吉賀米推進協議会(会長吉村諭)は12月22日、吉賀米のネーミングとロゴマークの表彰式を鹿足郡吉賀町の県立吉賀高等学校で行いました。

同協議会は、生産者16人で農薬と化学肥料を県基準の半以下に抑えながら、清流高津川の源流地で安心安全な米作りに取り組んでいます。生産した米は「吉賀米」として大阪市内の米穀店などで販売していますが、産地間競争が激化していることから、多産地との差別化をPRするため、新たな名称とロゴマークを作成し、ブランド化を図ることとしました。地元一丸となった取り組みとするため、町の未来を担う地元高校生にアイデアを募集、昨年7月にプレゼン大会を開催し、審査を行いました。その結果、ネーミングは同校2年生の秋山一平さんの「吉賀美玉(よしかびぎょく)」が、ロゴマークは3年生の大庭智里さんの、清流高津川が流れる吉賀町を茶碗に見立て、その中で育つ稲穂をテーマにした作品が選ばれました。

同協議会は「これをきっかけに高校生や地元住民と一体となった活動で地域を盛り上げてほしい」と意気込みを語りました。



ネーミングを考えた秋山さん(右から2人目)とロゴを考えた大庭さん(左から2人目)

いわみの母ちゃん漬け 漬け込み作業始まる

いわみ中央地区本部では、JA弥栄女性部(部長 徳田マスエ)が大根の栽培から加工まで行って作るたくあん漬け「いわみの母ちゃん漬」を販売しています。今年度も、昨年9月に大根の種を播き、11月に約2,000本を収穫しました。収穫した大根は、洗って陰干しします。12月に陰干した大根を塩漬けし、1月に大根の本漬け作業を女性部員で行いました。

無添加の昔ながらのいわみの母ちゃん漬は好評で、「懐かしいたくあんの味で、古漬けになっても美味しいから、毎年買っています」という消費者の声も聞きます。昨年度から、JA女性部弥栄独自の加工事業として取り組み、部員みんなで楽しみながら取り組んでいます。4月になると販売がスタートします。



法人座談会の開催

地区本部では、法人座談会を開催しました。開催内容としては、JA支援事業、事業承継、

12月中旬
▼
1月

収入保険制度、水稲指導、転作物等が希望ありましたのでそれぞれについて、関係機関協力の基で説明しました。来年度の水稲や畑作物作付け計画や今後の経営に向けて参考にして頂きました。

JAでは今後も様々な情報提供を実施し、法人、集落営農等への支援策を実施していきます。



大雪による農業用ハウス倒壊被害発生

1月10日から11日にかけての大雪により、管内の農業用施設や農産物に甚大な被害が発生しました。農業用ハウスにおいては42棟が全半壊となっており、今年の営農に向け不安要因となっています。JAでは、被害状況の調査を実施し、今後の対応については、県や町と連携して復旧事業に取り組みと共に、JAの支援策や撤去の人的支援についても協議を行い取り組む事とします。



1月10～12日の大雪に伴う農業被害状況報告

1月22日現在

被害内容	ハウス全半壊被害棟数	被害金額	品目
美郷 積雪 90cm弱	ハウス被害 全壊 3棟(800.4㎡) 半壊 2棟(972㎡)	5,602千円 4,006千円	アスパラ、トルコギキョウ、野菜
邑南 積雪 90cm弱 (一部調査中)	ハウス被害 全壊 25棟(1,856.2㎡) 半壊・一部破損 5棟(1,065.6㎡) ビニール破損 2棟(696㎡)	12,993千円 2,640千円 208千円	水稲育苗、ぶどう、野菜、堆肥
倒伏、葉折れ	作物 29件 約 3.3ha		・白ねぎの葉折れ 274a ・アスパラ、あすっこ、高菜が雪の中で経過観察

【今回支援内容・支援額】

(1) 島根県及び市町村による農業復旧対策事業がある場合

① 支援額の算出方法

補助対象事業費＝総事業費－NOSAI 共済金

JA 支援額＝補助対象事業費×1/6

② 補助対象事業費は、島根県及び市町村による農業復旧対策事業と同額とする

③ 下限事業費は 400 千円とする

(2) 島根県及び市町村による農業復旧対策事業がない場合

① 支援額の算出方法

補助対象事業費＝総事業費－NOSAI 共済金

JA 支援額＝補助対象事業費×1/2

② 補助対象事業費は、島根県及び市町村による農業復旧対策事業に準ずる額とする

③ 事業費は 400 千円未満とし、下限事業費は 200 千円とする

(3) NOSAI 共済金の扱い

① 共済加入の場合は、支払共済金を“NOSAI 共済金”とする

② 共済加入がない場合は、以下の計算で算定する パイプハウス＝@3,180円/㎡×46%相当 ＝1,463円/㎡

(県の復旧対策基準を準用：農林水産省が定める園芸施設共済評価基準に基づくパイプハウス評価額 3,180円/㎡の46%相当額)

(4) 算出された支援額に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てる

くわしくは各事業所または営農企画課までお問い合わせください。

AED講習会

島根おち地区本部では、管内施設に設置しているAEDの更新と設置場所の変更に合わせ、職員を対象としたAED取扱技術の取得を目的とした講習会を開催しました。

当地区本部では、平成22年に救急医療体制の整備活動にかかる助成事業により導入していたAED10台が、本体動作保証期間の7年が経過したことに合わせて設置場所の見直しも行ない、管内8箇所の施設にAEDを設置しました。



講習会は、管内3箇所で開催されフクダ電子岡山販売株式会社の鎌田英樹担当をお招きして開催しました。講習では、倒れている人の意識確認から胸骨圧迫、AEDを使用するまでの流れを実践を交えながら丁寧な指導を受け、続いてAED使用時の注意点について説明を受け、講習会を終了しました。

1月
16

島根おち地区本部 AED設置場所

AEDを管内左記8ヶ所に設置しています。

- 瑞穂支店 羽須美支店
- 石見支店 川本支店
- 邑智支店 大和支店
- 生活部
- 井原給油所(新設)

J A女子大学つくしんぼ講座開講

J A女子大学「つくしんぼ」では島根おち地区本部にて「つくしんぼ講座」を開講しました。今回の講師は、邑南町出羽のハヤシ美容院から林ゆかりさんと山本恵美さんをお招きし「ハンドケアとネイルアート」について習いました。当日は、つくしんぼ6期生と7期生の9名が集まり、まず手にハンドクリームを塗り、手のひらの付け根から指先に向かう関節や指の股などのマッサージ方法を教えて頂きました。マッサージを毎日続けることで血流を良くし、皮膚や爪の健康、手の冷えにも良いとの事でした。続いて爪ヤスリを使った爪表面の整え方、ネイルハケの上手な使い方、塗り方のコツなどを聞いた後、実際に好きな色を選びネイルして頂きました。最後にシールを使ったワンポイントの方法も習い、それぞれ素敵な指先に仕上がりました。学生たちは、お互いの指先を見比べながら嬉しそうに出来上がりの感想を述べ合っていました。また、林さんからはネイルを長持ちさせる方法、そして「普段は出来ないかも知れませんが、ネイルをすると気分も変わりますので、休日やお出かけの時などには是非してみてください。」とお話しを頂き、女子力アップの楽しい講座となりました。

1月
20



は、お互いの指先を見比べながら嬉しそうに出来上がりの感想を述べ合っていました。また、林さんからはネイルを長持ちさせる方法、そして「普段は出来ないかも知れませんが、ネイルをすると気分も変わりますので、休日やお出かけの時などには是非してみてください。」とお話しを頂き、女子力アップの楽しい講座となりました。

総代・連絡員合同会議



島根おおち地区本部は、管内7箇所総代・連絡員合同会議を開催し、現在JAが取り組んでいるJA自己改革や営農、生活、金融共済の各部門の今後の取り組みについて報告しました。

報告では、JA自己改革におけるJAしまねの取り組みとして、本店と地区本部の連携による生産振興・販売対策、生産資材の銘柄を集約した共同購入によるコスト低減など統合メリットを生かした自己改革実現に向けた取り組みが報告されました。また、営農では平成30年度の水稻、園芸作物の振興計画、生活では正組合員農業用燃料の特別価格の実施、金融は所得増大に向けた支援やキャンペーン金利など下期でのさまざまな取り組みが報告されました。

2月1日
▼
2月6日

役職員研修



島根おおち地区本部は、役職員大会にあわせ、人権啓発研修と川本警察署から講師を招き、講習会を開催しました。

研修では、人権啓発としてDVを視聴し、部落問題や在日韓

国朝鮮人、性の多様性いわゆるLGBTについて学びました。また、川本警察署から坂根英明署長と山田美玲交通課長、吉田健一生活安全課係長を招き、振り込め詐欺防止と交通安全について講習を受けました。

当地区本部では、年2回役職員を集め、人権啓発研修やコンプライアンス研修、接遇マナーなどさまざまな研修を通じた職員研修に努めています。

2月
3

支店
ばより

瑞穂支店



私たち瑞穂支店金融共済課は、金融共済担当10名、渉外担当5名、計15名の支店です。

元気で気持ちの良い接客対応、何でも気軽にご相談いただけるようなアットホームな雰囲気づくり、常に新しい情報発信のできる支店を目指しています。

もうすこしで暖かい春となり、車の免許を取得される若年層の方もたくさんいらっしゃると思います。

JAでは、そのような方に最適な自動車共済をご準備しています。どのようなことでもかまいませんので、お気軽にご相談下さい！



支店
ばより

羽須美支店



1月15日、羽須美支店においてラッカーボール(防犯用カラーボール)を使用した防犯訓練を実施しました。

ボール内の蛍光塗料は一度付着すると除去が極めて困難であり、犯人の特定や迅速な逮捕に役立ちます。ボールは人体に直接投げると割れない可能性が高いため、足元の路上を狙うよう意識し、実際に職員ひとりずつ訓練を行ないました。

羽須美支店ではみなさまの大切な貯金を守るため、今後も防犯対策や定期的な訓練を実施していきます。

自然災害
続発!!

大切な我が家の備えについて 考えてみませんか?

大雪、地震、大型台風などにより、多数の被害が
続発しています。この機会に、我が家の備えを
確認してみませんか?

建物更生共済



建物更正共済に加入されている方で、降雪で被害がありましたら、
お近くの支店窓口までお問い合わせください。

年金受給者定期貯金

ふくじゅ
福寿

スーパー定期貯金
【単利型・複利型】

店頭表示金利に

年 **0.15%**
金利上乘せ

ご契約対象者

当JAに年金の受取口座を
指定いただいている方

店頭表示金利に

年 **0.15%**
金利上乘せ

ご契約対象者

満55歳以上65歳未満で、
年金受取を当JAでご予約
いただいた方

年金予約定期貯金

年金をお受取りに
なる前の方へ

**ハッピー
ターン**

くわしくはお近くの店舗窓口までお気軽にお問い合わせください。



新たにJAで給与受取口座を指定し、
平成30年2月から6月のいずれかの月において
5万円以上のお受取が確認できた方に

5,000円分 応募者
全員に!
QUOカードプレゼント!

お申込み期間

平成30年 **2月1日(木) ~ 5月31日(木)**

お申込み方法

専用の応募ハガキまたはJAバンクHPからお申込み下さい。



平成30年度物振興計画(具体的な取り組み)

1. 水稲の具体策

【販売に結びついた米生産の取り組み】

- 1) 特別栽培米「石見高原ハーブ米コシヒカリ」の振興
- 2) 特別栽培米「石見高原ハーブ米きぬむすめ」の振興
石見高原ハーブ米きぬむすめについては堆肥助成(1,000円/t)を予算内において実施します。
また、新規作付け者及び増反部分へはクローバー種子助成(約1,500円/10a)を実施します。

2. 園芸の具体策

品目	振興策	具体策	助成率	10a当助成額(円)
白ねぎ	白絹、軟腐対策	粒剤購入助成 オリゼメート 3kg	1/3	1,800
		5a以上作付け者へ苗助成(6枚/a)	100円/箱	6,000
	面積拡大対策	面積拡大部分苗助成	200円/箱	12,000
		新規作付け苗助成	1/2	42,000
		出荷調整施設利用料助成 2Lの場合	1/3	62,000
ナス	新規生産対策	支柱購入助成	1/2	6,000
		接木苗助成	1/4	44,000
	面積拡大対策	支柱購入助成	1/2	6,000
		接木苗助成	1/6	30,000
	接木苗	自根から接木苗への変更助成	1/4	44,000
省力化対策	サスペンションの購入助成	1/3	12,000	
ミニトマト	品質対策	遮光資材購入助成(例8×30m)	1/3上限あり	15,000
	資材費対策	天井ビニール更新助成	1/3上限あり	20,000
	灌水対策	灌水資材の購入助成	1/3	3,000

※尚、助成額については例であり、苗や資材の本数等により変わりますので御了承願います。

玉葱(2月~収穫期まで)の栽培管理のポイント

1. 追肥について(NK-2号を7kg/a散布しましょう)

- ・元肥で一発肥料を施肥している場合は追肥は不要
- ・2月中下旬頃に葉色を落とさない(抽台の危険性)
- ・止肥は3月中旬までに終える(遅くなると品質、貯蔵性が悪くなる。)
- ・肥料の吸収を助ける効果のある石灰資材を4kg/a散布する

3. 灌水について

球の肥大期に乾燥すると肥大を阻害するだけでなく、球形も悪くなるので極端に乾燥する場合は適宜、畝間かん水を行う。

2. 農薬散布について

- ・高温・多雨で湿度が高い状況では「べと病」や「軟腐病」等の発生が多いので、適期に防除する
- ※「べと病」…プロポーズ顆粒水和剤 1,000倍液
- ※「軟腐病」…スターナ水和剤 1,000倍液

4. 収穫

- ・茎葉が圃場で7割程度倒伏した時期を目安に行う。(収穫が極端に遅れると腐敗玉の多発を招くことがある)
- ・晴天続きの日を選んで午前中に抜き取り、最低半日、できれば1~2日は地干しした後傷つけないよう収納する。
- ・通風の良い直射日光があたりず高温とならない場所を保管場所として選ぶ

和牛情報



平成30年1月子牛市場成績表

西部“上昇” 中央“もちあい”

本県1月の子牛市場は、西部・中央で開設し345頭の上場があり、平均価格は、西部が737,842円で“上昇”、中央が772,624円で“もちあい”の取引となりました。

中央市場の上場牛では、一部で発育に劣るものもみられましたが、

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
中央市場	メス	115	1,141,560	17,280	711,335
	又キ	114	1,110,240	516,240	834,452
	合計	229	1,141,560	17,280	776,624
島根おおち	メス	16	752,760	484,920	672,120
	又キ	11	887,760	516,240	753,644
	合計	27	887,760	484,920	712,920
瑞穂	メス	3	744,120	717,120	734,400
	又キ	3	884,520	724,680	801,720
	合計	6	884,520	717,120	768,060
羽須美	メス				
	又キ				
	合計	0	0	0	0
石見	メス	3	704,160	517,320	610,740
	又キ	1	887,760	887,760	887,760
	合計	4	887,760	517,320	679,995

全体としては発育・体積に富むものが多くみられました。

年明けとなる今月は、需要期を終えたこともあって全国的に枝肉相場が下落しており、素牛相場においても産地ごとに違いはみられるものの全国的に弱含み傾向にあります。

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
川本	メス	3	746,280	561,600	657,360
	又キ	1	828,360	828,360	828,360
	合計	4	828,360	561,600	700,110
邑智	メス	5	734,400	484,920	646,056
	又キ	4	840,240	516,240	670,410
	合計	9	840,240	484,920	656,880
大和	メス				
	又キ	1	733,320	733,320	733,320
	合計	1	733,320	733,320	733,320
桜江	メス	2	752,760	702,000	727,380
	又キ	1	753,840	753,840	753,840
	合計	3	753,840	702,000	736,200

県外移出率

雌→49.44% 去勢→38.97% 合計→43.97%

農家のための

トラクター^{など}をお持ちのみなさまへ

JA共済

『農機具包括保障プラン』

ご加入いただくとトラクター^{など}の事故もその他農機具の事故もまとめて保障いたします

のご案内です!

3つのポイント

- ① 簡単な手続きで田植機・コンバイン・農業用薬剤散布車について“何台でも”保障!
台数に関係なく、一括保障します。1台ごとに手続きする必要はありません。保障内容は主契約の対人保障・対物保障・自損事故特別が適用となります。コンバインは、主として稲作に用いるものに限りです。
- ② 季節農業用自動車保障特約の支払いによる等級ダウンがありません
本特約から共済金をお支払いする場合は、ノーカウント事故としますので、主契約の割増・割引等級のダウンは発生しません。
- ③ かかった掛金は、青色申告の対象になります
所得税法上、農家が所有する自動車でもっぱら農業の用に供するもの(トラクター等)に対する自動車共済等の掛金は、農家の事業所得の必要経費として認められます。

こんなケースがお支払いの対象になります。

農耕作業用小型特殊自動車は自賠償共済(保険)に加入することができません。以下のように自動車事故により他人を死傷させた場合など、高額な損害賠償責任を負うことになる恐れがあります。

相手方(ひと)への保障

相手方(もの)への保障

ご自身のおケガ

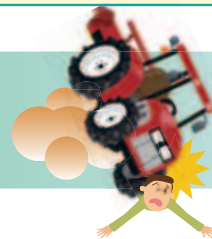
主契約



道路走行中に、運転操作をあやまらせて他人にケガをさせてしまった。



道路走行中に、自動車や街路樹と衝突事故を起こしてしまった。



農作業中に運転操作をあやまり、運転者自身がケガをってしまった。

季節農業用自動車保障特約



※自損事故特別によるお支払いとなります。

ご契約例 共済期間12か月の新規契約 共済掛金(一時払い)

- 主契約/トラクター
- 対人賠償/無制限
- 傷害定額給付/死亡200万円
- 割引/自動継続割引
- 等級(事故有時点適用期間)/6D等級(0年)
- 対物賠償/無制限(免責0万円)
- 季節農業用自動車保障特約/有(掛金3,880円)

12,170円

※平成29年4月時点の共済掛金となります ※個人契約の場合

詳しくはお近くの支店窓口までお問い合わせください



島根おおち地区本部

女性部 が行く





問い合わせ先 ☎83-1802

島根おおち女性部 役員と対話集会

**1月
29**

島根おおち女性部は、役員と
の対話集会を中野団地センターで
開催し、この一年間の活動やJA
事業利用における要望、今後の取り組みにつ
いて意見交換を行いました。

当日は、女性部20人、地区本部から役員、各
ブロック長など6人が参加。女性部員から、女
性部が取り組んでいるケイトウ栽培や石見高原
ハーブ米の今後の生産、支店などの施設利用に
ついてなどJA事業利用におけるさまざまな意
見や要望ができました。

日高光弘本部長は「女性部員の皆様のさまざま
な意見をいただき、施設の整備、改修など行
なってきた。今後も女性部の活動が活発となる
よう協力していきたい。」と話し、寺内洋子女
性部長は「部員の高齢化で活動が難しくなっ
てきている。このような対話集会を通じ意見交換
することで活動しやすく前向きな取り組みをし
ていきたい。」とあいさつされました。

主な意見・質問

- 今後の石見高原ハーブ米の取り組みにつ
いて
- あらためておさいふカードの使い方、利
用方法を教えてほしい
- 女性部が取り組んでいるケイトウ栽培に
ついて、1本の単価が低くなっている。
栽培の指導をしていただきたい
- 29年度に女性部員を対象とした農機講習
会を開催してもらったので今年も開催し
てほしい

お便り紹介



今月も皆さんからのおたよりがたく
さん届いています。ありがとうございます。
見ご要望などもお寄せください。

◇今年も昨秋から続いてインフルエンザが流行するとか聞きますが、手洗
いの方法を読んで「コリヤアー大変だ」「コガアナ面倒くさい事は出来ん」
と思いましたが、でも自分の事だから時々は実行して罹らないようにしよ
うと思っています。人様にも迷惑をかけないように思っています。

●インフルエンザの予防注射をしても流行していると聞くと不安です
ね。自分も感染したくないし、人にもうつしたくないです。水が冷たいこ
の時期ですが、細菌やウイルスへの感染防止に「手洗い」頑張りましょう！

◇この度の大雪には本当にまいりました。3日間も停電し不自由でした。
たくさん倒木で毎回雪が降るたびにうんざりです。来週もまた雪マーク
が出てたけど…。

●3日間もの停電。暖房など何かと大変でした。天気予報で早めに寒波
の情報を知る事ができても、予想外の大雪にはなかなか対処できません。
特に停電や断水は生命に関わることですが、復旧までじっと我慢するし
かありません。電化も進んでいます。ガスや灯油、木炭、豆炭などの燃
料の備えや、食糧の備蓄などはしなければと改めて思いました。

◇昨年8月に白内障の手術を受け入院・手術の保険の手続きをしましたと
ころ、思いがけず早く入金になりました。ありがとうございます。
ました。これからも元気で頑張って日暮らしをしていきたいと思いま

●その後お加減はいかがでしたか？何をすることも視力は大切ですね。術
後まだ間もないので家事など無理せず趣味や娯楽も楽しみながら日々お過
ごし下さいね。

◇毎年、暖かくなると近くの土手に行ってフキノトウをつんで帰り、天ぷ
らにして食べています。ヨモギ、ツクシと今から楽しみにしています。「J
Aしまねびより」毎月楽しみにしています。「しまねれしび」一人暮らし
の孫に送っています。

●フキノトウの天ぷらいいですねえ。田んぼの畦や道端でポッコリ顔を
覗かせるフキノトウを見つけたら「ラッキー」と「春が来た」の喜び2倍
です。外はまだまだ寒い！暖かい季節が待ち遠しい今日この頃です。春を
見つけたらお孫さんにも送ってあげて下さいね。

川本支店管内 Tさん 70代

大和支店管内 Mさん 80代

羽須美支店管内 Hさん 60代

邑智支店管内 Hさん 80代

ねんきんびより



障害年金ってどんな年金なんだろう？

この前職員の話の中で障害年金の事が話題になりました。以外と知られていなかったので今回ちょっと学習してみましょう!!

1. 障害年金とは？

病気やケガで生活や仕事などが制限される場合、受け取ることができる国の公的な年金です。

2. どんな病気やケガが対象なんでしょう？

発達障害・知的障害・先天性の障害

手や足の切断などの肢体の障害・人工骨挿入・人工透析・癌・重度の糖尿病・脳梗塞

心臓病・人工肛門・うつ病や若年性アルツハイマーなどの精神疾患・パーキンソン病など

3. どんな条件があるのでしょうか？

下記の3つ(①~③)の条件を満たしていること

①障害の原因となった病気やケガの初診日の時点で下記のいずれかであること

- ・国民年金か厚生年金のいずれかに加入中であること
- ・20歳未満又は、日本国内に住んでいる60歳以上65歳未満の方で老齢基礎年金を繰上げ請求していない方

②一定の保険料の納付要件を満たしている

③障害の状態が障害認定日または、初診日が20歳未満の場合は20歳の時点で等級に該当する。また、障害認定日には病状が軽くその後病状が悪化した場合(事後重症)

※ただし、身体障害者手帳の等級とは必ずしも一致しない

年金相談会のスケジュールは只今計画中です。気軽に相談されるような年金相談会にしていきたいと思っております。どんな相談でもかまいません。年金の事・退職時の事などご相談ください。年金相談会年間のスケジュールが決まり次第報告いたします。

重要 必ず誰もが年金を受給できるとは言えません。手続き等も複雑です。対象と思われる方は一度年金相談を受けられることをお勧めします。



年金に関する疑問・質問はお気軽にご相談ください

JAしまね 島根おおち地区本部 年金相談センター TEL.83-1803

3月の行事紹介

3月14日(水) ゆとり倶楽部

時間：9:00~
場所：中野団地センター
内容：春の花を使った寄せ植え作り

3月15日(木) 幸せのたね たんぽぽ

時間：9:00~
場所：中野団地センター
内容：着物リメイク講座

3月17日(土) つくしんぼ

時間：9:00~
場所：地区本部2階会議室
内容：フラワーアレンジメント

3月の外勤日

15日(木)・16日(金)・17日(土)

組合員の皆様へ

自然が奏でる愛のメッセージ。
伝えたい輝きがここに...

2018 REIHOUTEN

麗宝展

in JAしまね 島根おおち地区本部

開催日時/場所

3/17(土)・18(日)・19(月)

10:00~19:00 10:00~18:00 10:00~19:00

田所山村開発センター 邑南町下田所 282-1

《お問い合わせ》生活部 0855-95-3601

チンゲンサイ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

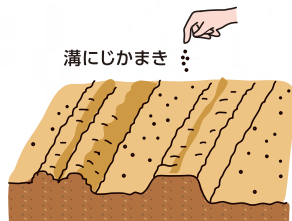
中国華中地方の原産で、中国名は「青梗菜」。ハクサイの仲間ですが、茎が青くて結球しないのでこの名があります。戦後中国から導入された野菜は数々ありますが、チンゲンサイはその代表選手といえましょう。

一番の特徴は、火を通すと緑色が鮮やかさを増し、煮崩れ、目減りが少ないことですが、あくがなく、煮物、炒め物、おひたし、あるいは漬物にと使い道は広がります。

冷涼な気候を好み、生育適温は15~22度ですが、暑さ寒さにも葉菜類のうちではかなり耐える方で、4月下旬から9月中旬まで種まきでき、案外育てやすいので、家庭菜園にお薦めの野菜です。

畑にじかまき、または育苗して植え付けと両方ともできますが、長い間収穫を楽しむにはじかまきを、そろった良品を畑の回転良く収穫するには128穴のセルトレイ育苗をと、使い分けると良いでしょう。

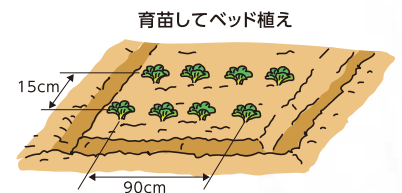
じかまきの場合には、あらかじめ全面に完熟堆肥、油かす、化成肥料を15cmぐらいの深さに耕し込み、準備しておいた畑に、くわ幅(15~17cm)のまき溝を作り、2~3cm間隔に種をばらまきます。覆土は2~3cm厚さとし、夏に向かう栽培では防乾、防暑のために、まいた上に切りわらまたはもみ殻、完熟堆肥を細かく砕いたもののいずれかで薄く覆っておきます。



発芽したら本葉3~4枚の頃6~7cm間隔に、その後逐次間引き最終株間を15cmぐらいになるようにします。生育中15~20日置きに株の周りに肥料をばらまき、軽く土と混ぜ合わせておきます。



チンゲンサイは下の方の葉と葉の間に隙間ができ、泥跳ねにより土が入りますので、フィルムマルチが有効です。じかまきの場合には、90cm幅のベッドを作り、15x15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、穴に5~6粒種をまき、発芽したら込み合わない程度に逐次間引き、本葉7~8枚で1本立てとします。追肥は必要に応じて株間に指先で穴を開けて施します。



育苗の場合にも同じくベッドを作り、あらかじめ15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、その穴に本葉7~8枚に育った苗を1株ずつ植え付けます。

種まき後、春は45~55日、夏は35~45日ぐらいたち、草丈が18~20cm、150gぐらいに育ったら収穫します。家庭用ならその

半分ほどに育った頃からミニチンゲンサイとして収穫、切らずに株ごと料理に用いるのも良いでしょう。



ミニチンゲンサイ
丸のまま調理に



良品は葉柄が太く
尻が膨らんでいる

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

タテのカギ



- ② 在校生の送辞に対する卒業生の返事
- ⑤ 15日間ある大相撲なら8日目
- ⑦ ケーキを焼く前にオーブンを——した
- ⑨ 大学——に向けて受験勉強しています
- ⑪ 日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
- ⑫ 宇野重吉と寺尾聰、渡辺謙と杏
- ⑬ 国民の三大——は教育・勤労・納税です
- ⑯ 食材をいぶして作ります
- ⑰ 石原裕次郎のヒット曲『——よ今夜も有難う』
- ⑲ 豚カツの衣の一番外側
- ⑳ 永世中立国として有名。首都はベルン

ヨコのカギ



- ① お内裏さま、五人ばやしといえは
- ② 胸びれを広げて滑空します
- ③ ——学生、修道——
- ④ ラディッシュとも呼ばれます
- ⑥ 水を多めに入れて炊いた米
- ⑧ ドライバーで締め付けます
- ⑩ とっくりを持ってお——した
- ⑬ 円を描くときに使う文房具
- ⑮ 大、小、裸から連想される穀物は
- ⑰ 定規を使うとききれいに引けます
- ⑲ クルミやドングリが似合う小動物

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			D			
	6			15		E
2			12		19	21
		10		16		
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						B

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒696-0222 邑智郡邑南町下田所277
JAしまね 島根おおち地区本部 組合員課 「クイズ」係
平成30年3月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「フキノトウ」

ト	ウ	キ	モ	ナ	カ
ロ	ン	リ	レ	ソ	ノ
シ	コ	ク	レ	ソ	ト
ユ	ク	ユ	キ	ミ	セ
ク	チ	バ	シ	ン	アイ
フ	エ	ヨ	ホ	ウ	モ
ク	ス	リ	オ	ト	モ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康 耳

JA島根厚生連

耳の健康と衛生チェックをしよう

耳は、私たちが生活をしていく上で外部から音の情報を得るための大切な器官です。ところが、耳の健康については、「聞こえ」が悪くなる症状が出るまで、あまり気にしない人が多いのではないのでしょうか？ 耳の病気には、ある日突然原因不明で片耳が聞こえなくなる「突発性難聴」や、耳の奥に炎症を起こす「中耳炎」「内耳炎」など、早めに治療しないと「聞こえ」のレベルが下がったままになるものもあります。耳の不調を感じたら、まずは耳鼻咽喉科を受診しましょう。

「こんなときは耳鼻咽喉科を受診を」

- ・耳が塞がった感じがする
- ・音が響いて聞こえるめまいがする
- ・耳鳴りがする耳が痛い
- ・普段と違う耳垢（みみあか）がとれる

普段も耳を掃除するときには、つぎの点に注意して行いましょう。

耳の掃除の目安は、2〜3週間に1回程度。耳垢には皮膚を保護したり、虫の侵入を防いだりする役割もあるので、掃除し過ぎないことが大切です。耳の掃除には耳掻きや綿棒を使いましょう。マッチ棒や爪楊枝など耳掃除用でない物は、使うと外耳道を傷つけてしまいます。使用後の耳掻きは、アルコールが含まれたウェットティッシュで拭くなどすると衛生的です。

来月、3月3日は日本耳鼻咽喉科学会が定める「耳の日」です。この機会に、耳の健康についてチェックしてみませんか？



JAしまねびより1月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P.9・平成29年度島根中央子牛共進会結果報告
第2区4席 出品No.34 (誤) 松浦 雅子 ↓ (正) 松浦 正子
謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

生産者の
皆様へ

生産者の声を反映した

大型トラクターの共同購入提案 / スタート

JA全農は、担い手からの生産コスト低減要望に応え、生産現場の声を反映した60馬力クラスの低価格モデルトラクターの共同購入に取り組んでいます。「共同購入の取り組み」をわかりやすく生産者に伝えるパンフレットとDVD（動画）を作成し、1月18日、全農ホームページ（リンク先 <http://www.zennoh.or.jp/teicost/nouki/index.html>）に公開しました。今後、パンフレットと動画は担い手への個別訪問時や会議・研修会等の場で広く紹介していきます。

共同購入の目標台数は全国1,000台（平成30～32年・3か年）で、県域担い手サポートセンター、県域TAC部署の協力を得ながら生産者への提案活動を行い、平成30年3月末までに共同購入事前申込書のとりまとめをすすめています。

JAグループの組織力を活かし、広く生産者に共同購入を呼びかけ、事前申込で積上げた台数を背景に全農が大量・一括購入することで、担い手へより安く供給することをめざします。

全国の生産者が共同購入に結集し低価格を実現しよう！

JAグループは、生産現場の声を反映した大型トラクターを開発要求しました。



平成31年4月採用

「JAグループ島根就職説明会」の開催

【とき】平成30年3月25日(日) 受付12:00～
開催12:30～16:00

【ところ】ラピタウェディングパレス 3F 鳳凰の間
出雲市今市町87 TEL:0853-21-6063

【対象】大学・短大・高専・専修学校を
平成31年3月に卒業見込みと
3年以内に卒業した方

【お問い合わせ先】

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1

JAしまね 人事教育部 人事課

TEL:0852-35-9016

FAX:0852-35-9024

ホームページ <http://ja-shimane.jp/>

E-mail jinja.hon@ja-shimane.gr.jp

※会場にはJAしまね各地区本部と、一部連合会等のブースが設置されています。
※当日は、エントリーシートを持参してください。エントリーシートは3月1日以降に右記JAしまねのホームページの「採用情報」のページあるいは地区本部、連合会等のホームページからプリントアウトしてください（複数のブースの説明に参加される場合にはブース毎に準備ください）。
※就職説明会への参加の有無が採用選考に影響することはありません。

参加組織
JAしまね
JA島根厚生連
(一社)JA島根電算センター

 **JAしまね**

島根県農業協同組合

マイナビ2019

マイナビでエントリー受付中



臨床試験で
確認済!

目のピント調節 機能をサポート

本品にはアスタキサンチンが含まれます。アスタキサンチンは、正常な目のピント調節機能を維持することで、日常的なパソコンなどのVDT作業による疲労感を軽減することが報告されています。

機能性表示食品

●届出番号:A299

パソコン・スマホが
手放せない方に



Kyoyaku

アスタキサンチンプラス

1日の目安2粒

60粒(30日分) / 4,500円(税込4,860円)



ピントが
合いにくい。

こんなこと、ありませんか？

- ✓ 近くを見る時、ピントが合いにくい
- ✓ パソコン・スマホを、1日中使っている
- ✓ 目の疲れが取れにくくなった気がする

お問い合わせ

クミアイ家庭薬配置員 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430



クミアイ家庭薬

島根県産生乳を飲んでにゃ〜!

地産
地消

パッケージが新しく
なりました。

島根県産生乳100%
使用のこだわりの牛乳

New!!



問い合わせ先

島根中酪株式会社 ☎(0853)22-5300 E-mail: churaku@m1.izumo.ne.jp
〒693-0065 島根県出雲市平野町302番地

豚肉の塩みぞれ鍋



大根を1本全部使って作る、つけだしなしで食べられる、とってもおいしい塩味の鍋です。スープも全部飲めます。寒い日に体も心も部屋もほかほか温まります。

●材料 (4人分)

1人分285Kcal

豚肉……………	400g	しめじ……………	1袋
だし汁……………	3カップ	焼き豆腐……………	1/2丁
酒……………	1/4カップ	水菜……………	1/2袋
にんにく……………	1かけ	大根……………	1本
白菜……………	4枚	しょうゆ……………	小さじ1
えのき……………	1袋	塩……………	小さじ2

●作り方

- ①豚肉は食べやすい大きさに切る。
- ②大根はすりおろす。
- ③白菜は4～5cmに切る。
- ④しめじ、えのきは石づきを取り、ばらす。
- ⑤水菜は4～5cmに切る。
- ⑥鍋にだし汁、酒、つぶしたにんにくを入れ火にかける。
- ⑦煮立ったら、豚肉、白菜、しめじ、えのき、焼き豆腐を入れる。
- ⑧塩、しょうゆで味付けし、大根おろしを加えひと煮たちさせ、水菜を加える。

カブサラダ



大きく切ったカブの食感とクルミの食感がおいしいサラダです。マヨネーズを減らしヨーグルトで和えるのでヘルシーです。5分もあれば完成なので、生のカブの甘味を楽しんで食べてみてください。

●材料 (2人分)

白カブ……………	1～2個	マヨネーズ……………	大さじ1
カブの葉……………	1/2個	ヨーグルト……………	大さじ1と1/2
クルミ……………	20g	レモン汁……………	小さじ1/2
		オリーブ油……………	大さじ1/3
		黒コショウ……………	少々

●作り方

- ①カブの葉は小口切りにし軽く塩でもみ、しんなりしたら水洗いししぼる。
- ②カブは皮をむき半分に切り繊維にそってくし形に切る。
- ③ボールに調味用を入れ、カブ、カブの葉を入れ混ぜる。
- ④皿に盛ってから粗く刻んだクルミを乗せ、黒コショウをふる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。
今月の表紙は、石見神楽です。石見神楽は、島根県西部 (石見地方) で受け継がれている伝統芸能で、日本神話などを題材とした、演劇性の高い神楽です。描かれているのは演目「道返し (ちがえし)」で、常陸 (ひたち) の国に住む武甕槌 (たけみかづち) の命 (みこと) が世界各地を荒し廻った大悪鬼を退治する神楽です。石見神楽では珍しく鬼が降参し、許されると言う形で終わり、鬼を殺さずに道の途中から返すので道返しといえます。

編集後記

今月の表紙に描かれている石見神楽は、私の出身の石見地方でもなじみ深いものです。祭りなどではいつも演じられていて、笛や太鼓の音を聞くと気持ちが高まります。中でも、よく最終演目で演じられる八岐大蛇 (やまたのおろち) は、演出が派手で私も大好きです。(藤)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

